

取扱説明書

536LiP4 536LiPT5

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認してください。



Japanese

マークの説明

シンボルの説明:

スウェーデン語取扱説明書(オリジナル)の翻訳

警告!不注意な取り扱いや誤った取り扱いをすると、ボールソーは危険な道具となり、重傷や時には致命傷の原因となります。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

常に下記のものを着用してください。

- 落下物の危険性がある場合には防護ヘルメットを着用してください。
- 承認されたイヤマフ
- 認可された視覚保護具

この製品はEC規格適合製品です。

常に承認された保護手袋を着用してください。

丈夫で滑らないブーツを着用してください。

製品やパッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミとして取り扱われてはならないことを示します。本製品は適切にリサイクル施設に廃棄しなければなりません。(ヨーロッパにのみ適用)

ハンドルの配置のための制限を示す矢印

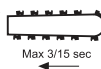
直流

体のあらゆる部分を、高温の表面から遠ざけるようにしてください。

チェーンオイルの補充

本機は絶縁されていません。本機が高電圧線に接触したり近づいたりすると、重傷あるいは致命傷を負う恐れがあります。電気はアーク放電により地点間をジャンプします。電圧が高いほど電気がジャンプする距離も長くなります。電気はまた、特に濡れている場合、枝やその他の物体を通して伝わります。本機と高圧線間は常に最低 10 m 空け、どんな物体も電圧線に触れないように気をつけてください。この安全距離内で作業する必要がある場合は、必ず関係電力会社に連絡して作業前に電力を切ってもらいます。本機は広い範囲に届きます。本機の動作中は、15 メートル以内に人や動物が近づかないようにします。

ソーチェンの回転方向とガイドバーの最大長、最大運転時間/アイドリング。



バッテリーとバッテリー充電器のシンボルマーク:

本製品は適切にリサイクル施設に廃棄しなければなりません。(ヨーロッパにのみ適用)



安全装置付き変圧器



バッテリー充電器は室内でのみ使用および保管してください。



二重絶縁



本機に付いている他のシンボル/銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

取扱説明書に表記されるシンボルマーク:

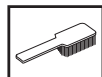
本機は電源オン・オフボタンを押すと、始動または停止します。本機が誤って始動しないように、製品を使用しない時はバッテリーを常に取り外してください。



常に承認された保護手袋を着用してください。



定期的な清掃が必要です。



目視点検

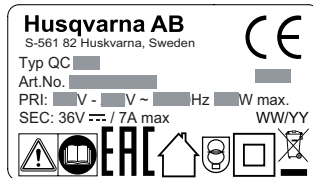
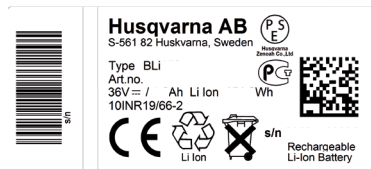
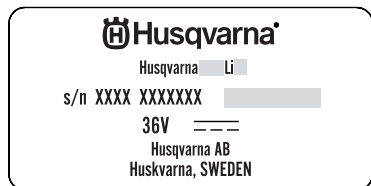


バッテリーを外します。重要事項!本機が誤って始動しないように、製品を使用しない時はバッテリーを常に取り外してください。



マークの説明

ポールソー、バッテリー、およびバッテリー充電器には、以下の記号とシールが貼られています。



目次

目次

マークの説明	
シンボルの説明:	2
バッテリーとバッテリー充電器のシンボルマーク: ...	2
取扱説明書に表記されるシンボルマーク:	2
目次	
目次	4
始動時には以下の注意点を守ってください。	4
はじめに	
お客様へ	5
各部名称	
各部分の説明	6
安全な使用について	
パワーツールの一般的な安全上の警告	7
使用者の身体保護具	9
バッテリーとバッテリー充電器	9
製品の安全装置	11
カッティング装置	12
組み立て	
カッティング装置の取り付け	18
ソーヘッドの回転	18
ブランチフックの組み付け	18
ショックガードの取り外し	18
ハーネスの調節	19
バッテリーの取り扱い	
バッテリー	21
バッテリー充電器	21
搬送と保管	22
バッテリー、バッテリー充電器および製品の廃棄	22
始動と停止	
始動前の点検	23
本機へのバッテリーの接続	23
始動と停止	23
作業技術	
一般的な作業方法	24
幹の枝払い	25
メンテナンス	
点検とメンテナンス	26
トラブルシューティング	27
メンテナンススケジュール	28
主要諸元	
主要諸元	29
EC 適合性宣言	30

始動時には以下の注意点を守ってください。

操作説明書に注意深く目を通してください。



警告!長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、イヤマフを必ず着用してください。



警告!いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本機の設計に変更を加えないでください。常に純正の部品をお使いください。不認可の設計変更や付属品は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となることがあります。



警告!不注意な取り扱いや誤った取り扱いをすると、ボールソーは危険な道具となり、重傷や時には致命傷の原因となります。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

はじめに

お客様へ

ハスクバーナの製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ハスクバーナの歴史は、スウェーデン王のカルル11世がハスクバーナ川の岸辺にマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた1689年に遡ります。その立地は、ハスクバーナ川の水力を動力源とする工場を建設するために適していました。その後、300年以上に渡り、ハスクバーナ社の工場は薪ストーブから最新のキッチン用品、ミシン、自転車、オートバイに至る製品の数々を生産してきました。1956年に最初のエンジン式芝刈機が登場し、それが1959年のブロワーへと続き、これが現在のハスクバーナの取り扱う製品分野になっています。

今日、ハスクバーナは品質を最優先として、林業や造園業務用機器のメーカーとして世界をリードしています。ハスクバーナは、建築や建設産業の他、農林および造園向けのエンジン駆動製品を開発し、製造販売しています。ハスクバーナ社は人間工学、有用性、安全性、さらには環境保護において業界の最先端に位置づけることもその使命にあげています。様々な機能を開発しこれらの分野で当社の製品を皆様に提供するのはこの概念が根底にあるからです。

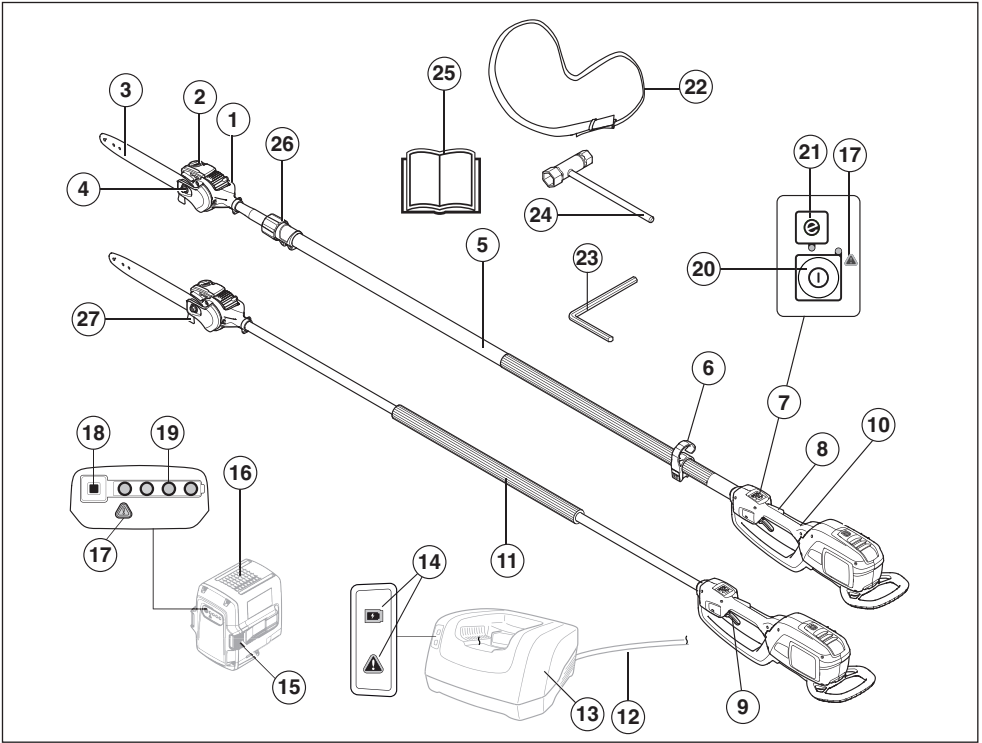
弊社はお客様が弊社の製品の品質および性能にいつまでもご満足いただけることと確信を持っております。弊社の製品をご購入いただくことにより、必要なときにプロの修理および整備をご利用いただけます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄りのサービスショップの所在地をお問い合わせください。

本製品にご満足いただき、末永くご愛顧いただけることを願っております。取扱説明書は大切な書類です。説明書の記載内容(使用方法、サービス、メンテナンスなど)に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。本機を販売する場合、取扱説明書を購入者に必ず渡してください。

ハスクバーナの製品をご購入いただき誠にありがとうございます。お客様に安心して製品をお使いいただくため、製品登録をお願いいたします。製品をお使いいただくために欠かせないサポートサービスや緊急情報の提供は、登録されたお客様のみ対象となります。ご利用の前に必ずご登録ください。 <http://www.jp.husqvarna.com/node1587.asp>

ハスクバーナ社は継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

各部名称



各部分の説明

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1 ソーヘッド | 15 バッテリー解放ボタン |
| 2 チェンオイルタンク | 16 バッテリー (アクセサリ) |
| 3 ガイドバー | 17 警告インジケータ (エラー LED) |
| 4 バーナット | 18 バッテリーインジケータボタン |
| 5 シャフト | 19 バッテリーの状態 |
| 6 ハーネスサポートフック | 20 電源オン・オフボタン |
| 7 キーパッド | 21 SavE ボタン |
| 8 パワートリガーロック | 22 ハーネス |
| 9 パワートリガー | 23 4 mm六角キー |
| 10 リヤハンドル | 24 コンビレンチ |
| 11 フロントハンドル | 25 取扱説明書 |
| 12 コード | 26 伸縮式機能 |
| 13 バッテリー充電器 (付属品) | 27 ブランチフック |
| 14 電源オン/警告インジケータ (エラー LED) | |

安全な使用について

パワーツールの一般的な安全上の警告

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

本機は、大小の枝を鋸断するためだけに使用できるよう設計されています。

本機が誤って始動しないように、製品を使用しない時はバッテリーを常に取り外してください。



警告!警告および指示はすべて読んでください。警告や指示に従わない場合、感電、火災、あるいは深刻な傷害を招くことがあります。

重要事項!

すべての警告や説明は、以後の参考のために保管してください。警告の「パワーツール」とは、電源で作動(コード付)のパワーツールまたはバッテリー駆動(コードレス)のパワーツールを指します。

作業エリアの安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ちます。乱雑な、あるいは暗い場所では、事故が起こりやすくなります。
- 可燃性の液体や気体、塵がある所など、爆発性雰囲気の中でパワーツールを作動させないでください。パワーツールは、塵やガスを発火させる火花を発生させます。
- パワーツールの操作中は子供やそばにいる人たちと十分な距離を置いてください。注意が散漫になって、操作ミスを引き起こす可能性があります。

個人の安全

- パワーツールを操作するときは、十分に気をつけて慎重に行動し、常識に従ってください。疲れているときや、医薬品およびアルコールの影響が残っている状態でパワーツールを使用しないでください。パワーツールの操作中は、一瞬の不注意が重大な傷害につながることがあります。
- 身体保護具を使用してください。常に眼の保護具を着用してください。防塵マスクや滑り止め用の安全靴、ヘルメット、イヤマフを使用すると、負傷の危険性が少なくなります。
- 予期せぬ始動を防止します。電源およびバッテリーパックを接続したり、ツールを拾ったり運ぶ前に、必ずスイッチがオフの位置にあることを確認してください。スイッチに指を置いてパワーツールを運んだり、スイッチが入った状態でパワーツールに圧力をかけると、事故につながります。
- パワーツールをオンにする前に、調整キーとレンチを外してください。パワーツールの回転部品にレンチやキーが取り付けられたままになっていると、怪我の原因となります。
- 無理な体勢で作業しないでください。常に、安定した足場とバランスを保つようにしてください。こうすることで、予期しない事態でもパワーツールを安定した状態に保つことができます。
- 適切な服装を心がけてください。ゆったりした衣服や装身具を身につけないでください。可動部品に髪の毛や

衣服、手袋を近づけないでください。ゆったりした衣服や装身具、長髪は可動部品に絡まる恐れがあります。

- 集塵装置の接続用装備が提供されている場合、それらが接続されて正しく使用されているか確認してください。集塵装置を使用すると、塵に関連する危険を回避できます。
- パワーツールの使用で発生する実際の振動は、公称合成振動値と異なり、ツールの使用方法に依存します。作業者は、自分自身を保護する目的で、実際の使用状況(ツールの電源をオフにする回数および、トリガー動作やアイドル運転の回数など、運転サイクルのあらゆる部分を考慮)における振動暴露予測を基本にした安全対策を確認する必要があります。

パワーツールの使用と手入れ

- パワーツールを無理に使用しないでください。用途に合った正しいパワーツールを使用してください。正しいパワーツールを使用した方が、意図された速度でより良く安全に作業を行えます。
- スイッチが機能しない場合はパワーツールを使用しないでください。スイッチで制御できないパワーツールは危険なため、修理する必要があります。
- 調整やアクセサリの変更を行ったり、パワーツールを保管する前に、電源プラグを外し、パワーツールからバッテリーパックを取り外してください。予防的な安全対策を行うことで、誤ってパワーツールを始動させる危険性が少なくなります。
- 使用していないパワーツールは子供の手の届かない所に保管して、パワーツールやこの取扱説明書に詳しくない人間がパワーツールを操作しないように注意してください。不慣れたユーザーがパワーツールを扱うと危険です。
- パワーツールのメンテナンスを行ってください。可動部品の誤調整やバインド、部品の破損やパワーツールの動作に影響する他の状態がないかどうか確認します。破損している場合は、使用する前にパワーツールを修理してください。ほとんどの事故は、正しいメンテナンスを受けていないパワーツールが原因です。
- 切削工具は研いだ状態で清潔に保ちます。正しくメンテナンスされて研いである切削工具は、バインドすることも少なく、制御が簡単です。
- パワーツール、アクセサリ、工具ビットなどは、これらの取扱説明書に従って使用し、作業条件および行う作業を考慮してください。意図されていない作業でパワーツールを使用すると、危険な状況を招くことがあります。

バッテリーツールの使用と手入れ

- メーカー指定の充電器のみを使って充電してください。1種類のバッテリーパックのみに適合する充電器は、それ以外のバッテリーパックの充電で使用した場合、火災を起こす恐れがあります。
- 仕様で指定されたバッテリーパックのみでパワーツールを使用してください。それ以外のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災を招く危険があります。
- バッテリーパックを使用しないときは、ペーパークリップ、コイン、キー、爪ぎり、ネジなどの金物、あるいは端子間を短絡する恐れがある他の小さな金物から遠ざけるようにしてください。バッテリー端子の短絡は、火傷や火災を引き起こす恐れがあります。

安全な使用について

- 劣悪な環境では、液体がバッテリーから漏れ出すことがあります。そのような場合、液体には触れないようご注意ください。もし万が一誤って触れてしまった場合、水で洗い流してください。液体が目に入ってしまった場合、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れ出した液体は、炎症や火傷を引き起こすことがあります。

サービス

- パワーツールのサービスは、資格のある修理担当者が同じ交換部品を使って行うようにしてください。こうすることで、パワーツールの安全性を維持できます。

ポール剪定器具に関する安全上の注意 - 個人の安全

- ポールソーを使用する場合、身体のすべての部分をソーチェンから遠ざけるようにしてください。ポールソーを始動する前に、ソーチェンが何にも接触していないことを確認してください。使用時に一瞬油断しただけで、衣服や身体の一部がソーチェンに巻き込まれる可能性があります。
- ポールソーを持つときは、必ず右手でリヤハンドルを、左手でフロントハンドルを握ってください。逆の手でポールソーを持つと怪我をする危険性が高まるため、この行為は絶対におやめください。
- ソーチェンは隠れた配線や自身のコードに接触する可能性があるため、絶縁グリップ面だけを掴んでパワーツールを持ってください。ソーチェンが「通電」している配線に接触することで、パワーツールの露出している金属部分は「通電」状態となることがあり、使用者が感電する危険性があります。
- 樹木の中でポールソーを使用しないでください。樹木の中でポールソーを操作すると、人的傷害を引き起こすことがあります。
- 保護メガネおよびイヤマフを装着してください。さらに、頭、手、脚と足用の身体保護具の着用を推奨します。適切な保護用衣服を着用することで、飛び散ってくる破片による怪我やソーチェンの接触事故を軽減できます。
- ポールソーは、常に安定した場所を確保し、平らでしっかりした安全な足場に立っている場合のみ使用してください。ハンゴのように滑りやすく、不安定な足場では、バランスを保ち、ポールソーを制御するのが難しくなります。
- ピンと張った枝を切る場合、跳ね返りに注意してください。木材繊維の張力がリリースされたとき、枝で使用者が直撃を受けたり、ポールソーが制御不能になって飛ばされたりすることがあります。
- 低木や若木を伐採する際は、細心の注意を払ってください。細長い形状のものはソーチェンに絡まって、使用者を鞭打つようにぶつかってくるか、使用者の引っ張りバランスを崩すことがあります。
- ポールソーは、ソーの電源をオフにして、体から離れた状態でフロントハンドルを握って運んでください。ポールソーの輸送および保存時は、必ずバーガードを装着してください。ポールソーのハンドルを矯正すると、不注意からソーチェンに接触する危険が小さくなります。

- 注油、チェンの張り、およびアクセサリの交換に関する指示に従ってください。チェンの不適切な張り具合や注油によって、チェンが破損したり、キックバックの危険性が増加する場合があります。
- ハンドル部は乾燥させて、オイルや油が付着しないようにきれいな状態を保ってください。油類が付着したハンドルは滑りやすく、コントロールし難くなります。
- 木材の切断にのみ使用してください。ポールソーを、使用を想定していない対象物に使用しないでください。例えば、プラスチック、レンガ、木材以外の建築資材の切断に、ポールソーを使わないでください。用途として想定しない対象物にポールソーを使用すると、危険な状況が発生することがあります。
- 最初のうちは、木を鋸断台や架台に載せて切ることを推奨します。

キックバックの原因と使用者による防止方法

キックバックは、バー先端に何かが接触したとき、あるいは、切断中のソーチェンが近くの樹木に引っかかったときなどに発生します。ガイドバー先端が障害物に触れると、反動の力が突然発生し、ガイドバーが使用者に向かって勢い良く戻ってくることがあります。ガイドバーの上部に沿ってソーチェンに何かが挟まると、ガイドバーは使用者へ向かって急激に押し戻されることがあります。このような反動により、ポールソーが制御不能となり、重大な人的傷害を引き起こす可能性があります。枝払いソーに内蔵されている安全機能だけに依存しないでください。ポールソーのユーザーとして、事故や怪我の無い切断業務を確保するために、いくつかのステップを実行する必要があります。キックバックは、工具の間違った使用方法や、不適切な使用手順が原因で発生するもので、以下に示す適切な安全対策を実行することで回避できます。

- ポールソーのハンドルに指をかけて両手で持ち、しっかりと握り維持してください。キックバックが発生しても持ちこたえることができるように、体と腕の位置を決めてください。正しい予防措置を講じた場合、使用者がキックバックの力を制御できます。ポールソーを離さないでください。
- 無理に手を伸ばして遠くを切ろうとしたり、肩の高さよりも上の位置で切断作業をしたりしないでください。こうすることで、先端が偶発的に何かに接触するのを防ぐことができ、不測の事態でもポールソーを適切に制御することが可能になります。
- 交換用ガイドバーとチェンは、ハスクバーナの指定品のみを使用してください。不適正なガイドバーやチェンに交換した場合、チェンの破損やキックバックが起こることがあります。
- ソーチェンの目立てやメンテナンスについては、ハスクバーナの指示にしたがってください。デブスゲージの高さの減少は、キックバックの増加につながります。

安全な使用について

重要事項!

本機のメンテナンスを行う前には、必ずバッテリーを外してください。

使用には、国や地方により、規制が課せられる場合があります。指定された規制に従ってください。

子供が本機で遊ばないように、監視する必要があります。

本機は子供の手の届かない場所に保管してください。子供や本機またはバッテリーの扱いに不慣れな人に、本機を使用させないようにしてください。居住地の法律によっては、使用者の年齢制限がある場合があります。

オリジナルの仕様を変更した機械は、それがどのような変更であっても絶対に使用しないでください。

身体保護具を着用してください。「使用者の身体保護具」の項の説明を参照してください。

本機の作業者は、作業中に人や動物が 15 メートル以内に近づかないように注意する必要があります。

霧や雨、強風、厳寒など気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。また、気温が極めて高いときは、本機がオーバーヒートすることがあります。

欠陥のある本機は絶対に使用しないでください。この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

使用前に本機全体の点検を実施してください。メンテナンスのスケジュールに目を通してください。



警告!本機は、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によっては能動あるいは受動的な医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している人が本機を操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することをお奨めします。



警告!本機を子供に使用させたり、本機の付近に子供を近づけたりしないでください。本機は簡単に始動できるため、十分に監視していなければ子供が始動することも可能です。重大な身体的傷害を引き起こす危険があります。そのため、本機が十分な監視下でない場合はバッテリーを外してください。

使用者の身体保護具

重要事項!

不注意な取り扱いや誤った取り扱いをすると、ポールソーは危険な道具となり、重傷や時には致命傷の原因となります。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

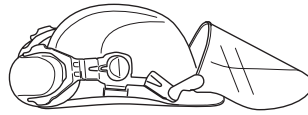
本機を使用するときは、認可のある身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択については、本機の販売店にご相談ください。



警告!イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら、速やかにイヤマフを外してください。

保護ヘルメットおよびバイザー

落下物の危険性がある場合には防護ヘルメットを着用してください。



イヤマフ

騒音を十分に軽減するイヤマフを着用してください。



視覚保護具

常に認可された視覚保護具を着用してください。バイザーを使用する場合、認可された保護ゴーグルも着用する必要があります。認可された保護メガネは、米国の ANSI Z87.1 規格または EU 諸国の EN 166 に適合しなければなりません。



手袋

カッティングアタッチメントを取り付けるときなど、必要なときは手袋を着用してください。



安全な使用について

ブーツ

丈夫で滑らないブーツまたは靴を履いてください。



ズボン

ソー用防護ズボンを着用してください。



服装

丈夫な布でできた服を着用し、小枝や枝が引っかかるようなゆったりした服装は身につけないでください。必ず厚手の長ズボンを着用してください。装身具や半ズボン、サンダルは着用せず、はだしにならないでください。髪の毛は肩より上になるように留めてください。

救急用具

常に救急箱を身近に備えてください。



バッテリーとバッテリー充電器

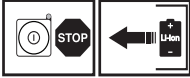
本セクションには、バッテリー製品に関するバッテリーおよびバッテリー充電器について記載されています。

ハスクバーナ製品用のハスクバーナ純正バッテリーのみを使用して、ハスクバーナ製の純正バッテリー QC 充電器でのみ充電してください。バッテリーはソフトウェアで暗号化されています。

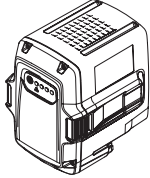
本機にはハスクバーナの純正 BLi バッテリーのみを使用してください。

安全な使用について

バッテリーの安全



ハスクバーナ充電バッテリー BLi は、ハスクバーナ製の関連コードレス機器専用電源としてのみ使用できます。傷害事故を避けるために、バッテリーは他の機器には決して使用しないでください。



警告! バッテリーは直射日光や熱、焚き火から保護してください。火の中にバッテリーを入れると、爆発する恐れがあります。熱や化学薬品によるやけどの危険性があります。



警告! バッテリーの酸に肌が一切触れないようにしてください。バッテリーの酸で肌が炎症を起こしたり、やけどや腐食による負傷の原因となることがあります。目に酸が入った場合、目をこすらずに大量の水で 15 分以上洗浄し、医師の診察を受けてください。誤って酸が肌に触れた場合、肌を十分な量の水と石鹸で洗浄する必要があります。

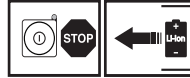


警告! バッテリーの端子を鍵や硬貨、ネジや他の金属に接続しないでください。バッテリーがショートする恐れがあります。バッテリーの通気口に物を入れないでください。

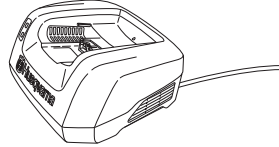
未使用のバッテリーは、くぎや硬貨、装身具などの金属に近づけないでください。バッテリーを分解したり粉碎しないでください。

- -10°C ~ 40°C の温度環境でバッテリーを使用してください。
- 電子レンジや高圧にバッテリーをさらさないでください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗浄したりしないでください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。
- バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。
- バッテリーは雨から保護して濡れない状態に維持してください。

バッテリー充電器の安全性



ハスクバーナの交換バッテリー BLi の充電には、充電器 Husqvarna QC のみを使用してください。



警告! 次の内容を実施することで、感電または短絡の危険性を最小限に抑えてください。

充電器の冷却スロットには、いかなる物も挿入しないでください。

バッテリー充電器を分解しないでください。

バッテリー充電器が短絡するため、充電器の端子を金属物体へ接触させないでください。

認証を受けていて、損傷のない壁コンセントを使用してください。

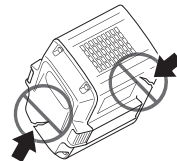


警告! 腐食性または可燃性物質の近くでバッテリー充電器を使用しないでください。バッテリー充電器にカバーをかけないでください。煙や火災が発生した場合、バッテリー充電器の電源プラグをコンセントから引き抜いてください。火災発生の危険があることを忘れないでください。

- バッテリー充電器の接続線に損傷や割れ目がないか定期的に検査してください。
- コードを持ってバッテリー充電器を運ばないでください。また、コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。
- すべてのケーブルと延長コードが、水や油、または尖った物に接触しないようにしてください。ドア、フェンスその他にコードが挟まらないようにしてください。充電器への漏電を引き起こす可能性があります。定期的に延長コードを調べ、破損している場合は交換してください。

以下を遵守すること:

- 故障または破損したバッテリー充電器、あるいは破損したり変形したバッテリーは使用しない。



安全な使用について

充電してはならない状況または環境:

- バッテリー充電器または本機で充電不可能なバッテリーを充電もしくは使用しない。
- 屋外ではバッテリー充電器でバッテリーを充電しない。
- 降雨時または湿潤な環境でバッテリーを充電しない。
- 直射日光の中でバッテリーを充電しない。

5°C ~ 40°C の温度環境でのみバッテリー充電器を使用してください。換気が良く、乾燥して塵埃のない環境で充電器を使用してください。

製品の安全装置

この項目では、本機の安全装置について説明しており、その目的、本機の正確な動作を確保するための検査とメンテナンスの方法を記載しています。安全装置の配置については「各部名称」を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、整備・修理を専門技術者に依頼しなかったりすると機械の寿命や使用時間を縮め、事故発生の危険性が高まります。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

重要事項!

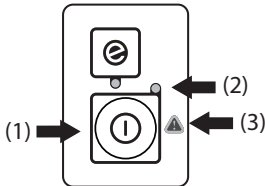
本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。本機の安全装置には、特にこのことが該当します。本機が下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。弊社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。本機を販売した小売店がサービス代理店ではない場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。



警告!安全装置に欠陥のある機械は決して使用しないでください。本項目の記載に従って、本機の安全装置の点検、メンテナンスを行ってください。お持ちの機械がこれらの点検項目を一点でも満たさない場合は、お近くのサービス代理店に修理を依頼してください。

コントロールパネル

オン/オフボタン (1) を押し続けたとき (1 秒以上) に、本機のスイッチがオンまたはオフになっていることを確認します。緑の LED (2) が点灯またはオフになります。



警告インジケータ (3) が点滅して緑の LED (2) が点灯していると、以下のことを示します。

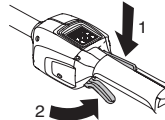
- パワーを最大限にした状態では本機を作動させることができません。パワートリガーを開放すると、本機は作動状態になります。

- 本機の動作がブロックされています。本機をオフにしてください。本機からバッテリーを外します。枝を持ち上げながら、ボールソーを切り口から引き出します。
- 過剰なトリミングによって、本機が過負荷になっています。パワートリガーを開放すると、本機は作動状態になります。

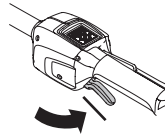
警告マーク (3) が点滅する場合、本機が高温のためにオフになっていることを示します。本機が通常の温度に戻れば、再び稼働の準備ができて本機を作動させることができます。赤の警告灯 (3) はサービスを示します。

パワートリガーロック

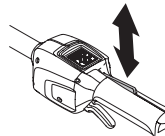
パワートリガーのロックは、パワートリガーの操作ミスを防ぐためのものです。ロック (1) を押さえる (ハンドルを握る) とパワートリガー (2) が開放されます。ハンドルから手を放すと、パワートリガーとパワートリガーロックアウトはともに元の位置に戻ります。この動作は、2つの独立したリターンスプリングが制御しています。



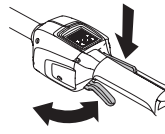
パワートリガーのロックが元の位置にあるときに、パワートリガーがロックされていることを確認します。



パワートリガーを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



パワートリガーとパワートリガーのロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを点検します。



「始動」の項を参照してください。本機を始動し、フルパワーにします。パワートリガーを放すと、カッティングアタッチメントが停止してそのままの状態になることを確認します。

安全な使用について

カッティングアタッチメントガード

使用するカッティングアタッチメントに推奨のガードを必ず使用してください。「主要諸元」の章を参照してください。



警告!認可されたガードのないカッティングアタッチメントは絶対に使用しないでください。「主要諸元」の章を参照してください。間違ったガードや故障したガードを取り付けると、重傷事故の原因となる恐れがあります。



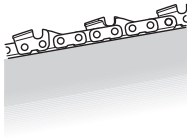
警告!本機は低振動荷重が特徴です。循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、力が入らない、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。

カッティング装置

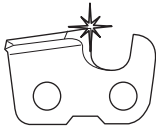


この項では、正しいメンテナンスを行い、適切な種類のチェーンを使用することによって、最大限の伐採能力を発揮させ、チェーンの寿命を延ばす方法について説明します。

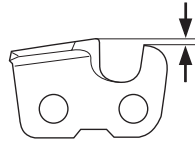
- 弊社指定のカッティング装置のみをお使いください!



- ソーチェーンの目立てを正しく行ってください!指示に従い、指定の目立てゲージをご使用ください。損傷があるソーチェーンや目立ての悪いソーチェーンは、事故の危険性を高めます。



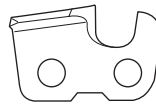
- 正しいデブスを維持してください!指示に従い、指定のデブスゲージをご使用ください。デブスが大きすぎると、キックバックの危険性が高くなります。



- ソーチェーンの張りを適切に保ってください!ソーチェーンにたるみがあると外れやすくなり、ガイドバーやソーチェーン自体、またドライブスプロケットの摩耗が進行する原因となります。



- ガイドバーやソーチェーンの潤滑状態を良好に保ち、正しいメンテナンスを行ってください!潤滑状態の悪いソーチェーンは破断しやすく、ガイドバーやソーチェーン自体、ドライブスプロケットの摩耗が進行する原因となります。



警告!安全装置に欠陥のある機械は決して使用しないでください。本項目の記載に従って、本機の安全装置の点検、メンテナンスを行ってください。お持ちの機械がこれらの点検項目を一点でも満たさない場合は、お近くのサービス代理店に修理を依頼してください。



警告!チェーンに何か操作を行う前に必ずエンジンを切ってください。スロットルコントロールを解放した後も、これは回転し続けます。チェーンが完全に停止したことを確認しスパークプラグキャップを外してから作業を開始します。

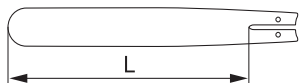
バーおよびソーチェーンの仕様

磨耗や損傷により本機付属のチェーンの交換が必要な場合は、弊社指定のバーとソーチェーンを必ずお使いください。

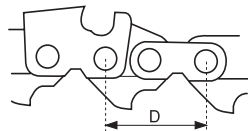
安全な使用について

ガイドバー

- 長さ(インチ/cm)

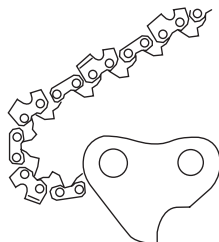


- チェーンピッチ(インチ)。ソーチェンのドライブリンク同士の間隔と、ノーズスプロケットの歯とドライブスプロケット間の間隔とが一致するようにしてください。

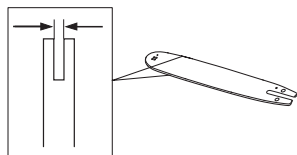


$$\text{ピッチ} = \frac{D}{2}$$

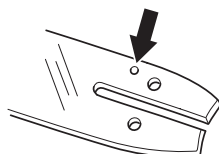
- ドライブリンクの数。ドライブリンクの数は、ガイドバーの長さ、チェーンピッチ、ノーズスプロケットの歯の数によって決まります。



- ガイドバーのレール溝幅(インチ/mm)。レール溝の幅は、ソーチェンのドライブリンクの幅と一致するようにしてください。

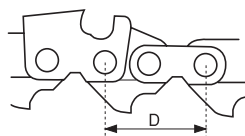


- 潤滑穴およびチェーンテンション用の穴



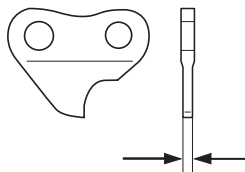
ソーチェン

- ソーチェンピッチ(インチ)。(3つのドライブリンク間の距離の2分の1)。

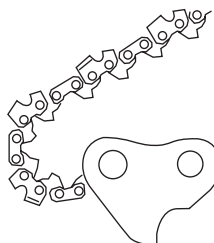


$$\text{ピッチ} = \frac{D}{2}$$

- ドライブリンクの幅(mm/インチ)



- ドライブリンクの数



チェーンの目立てとデプスの調整



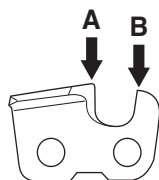
警告! チェンの目立てが悪いとキックバックの危険性が増します!

刃の目立てについて



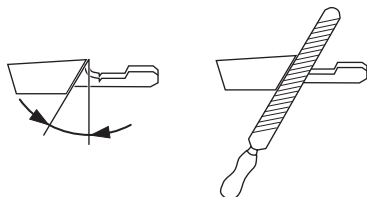
- 刃先の丸くなったソーチェンは絶対に使わないでください。ソーチェンの刃が丸くなっているかどうかは、ガイドバーを押し付けないと切り込まない、切りくずが非常に小さい、などの現象で判断できます。チェンの刃が極端に鈍い場合は、まったく切りくずが出なくなります。木粉だけが発生します。
- 目立てのよい鋭い刃を使用すると、抵抗なく木に切り込むことができ、長く厚い切りくずが出ます。
- ソーチェンの木を切る部分をカッターリンクと呼び、刃(A)とデプスリップ(B)で構成されています。切り込みの深さは、この2つの高さの差によって決まります。

安全な使用について



- 刃の目立てに当たっては、下記の4つの点に注意してください。

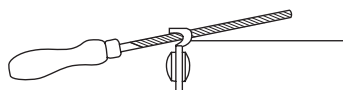
- 目立て角度



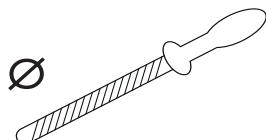
- 切削角度



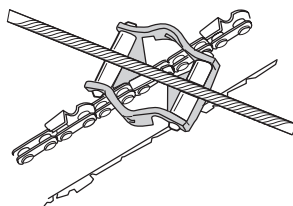
- ヤスリの位置



- 丸ヤスリの直径



ソーチェンの目立てを正しく行うには、正しい道具が必要です。ハスクバーナ製の目立てゲージを推奨します。目立てゲージの使用でキックバックの発生を最小限に抑え、ソーチェンの性能を最大に引き出すことができます。

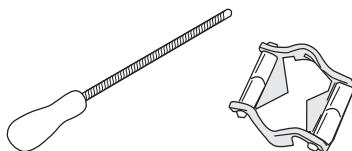


警告! 目立ての指示に従わないと、キックバックの危険性が増します。

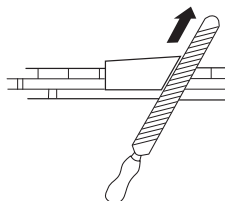
刃の目立て



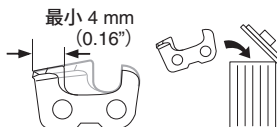
目立てには丸ヤスリと目立てゲージが必要です。



- ソーチェンの張り具合が正しいかどうか点検します。ソーチェンにたるみがあると横滑りを起こし、正しい目立てが難しくなります。
- 常に、内側から外側に向かってヤスリをかけてください。引くときは力を抜いてください。まずバーの片側の刃にヤスリをかけてください。その後ソーをひっくり返して反対側の残りの刃にヤスリをかけてください。



- 刃の長さが揃うようにヤスリをかけてください。刃の長さが 4 mm (5/32") 以下になった場合は、ソーチェンが摩耗しているため、新しいものと交換する必要があります。

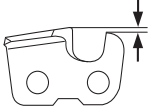


安全な使用について

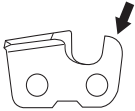
デブス設定における一般的アドバイス



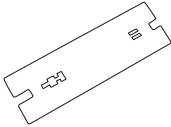
- 刃の目立て時にはデブス（切削の深さ）を浅くしてください。最適な切削性能を維持するために、デブスリップを推奨高さまでヤスリをかけて戻す必要があります。



- 低キックバックのカッターリンクでは、デブスリップの前端は丸くなっています。デブス調整時にこの角アールあるいは面取を保つことが非常に大切です。



- デブスリップの正しいデブスと面取を実現するために弊社のデブスゲージのご利用をお勧めします。

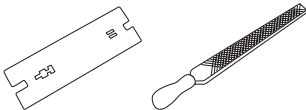


警告！デブスが深すぎると、キックバック発生の危険性が増します！

デブスの設定

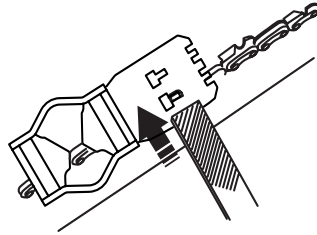


- デブスの設定前に、刃を新たに目立てする必要があります。
- デブスの調整は、チェーンの目立て 3 回に 1 回の割合で行うことを推奨します。注意！これは、刃が著しく短くなっていない場合に限りです。
- デブスを調整するには、平やすりとデブスゲージが必要です。

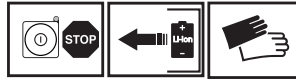


- ゲージをデブスリップの上に置きます。

- ゲージから突き出たリップ部分にやすりを当てて余分な部分を削り取ります。ゲージの上からヤスリを引くときに抵抗を感じなくなったら、デブスは正しく調整されています。

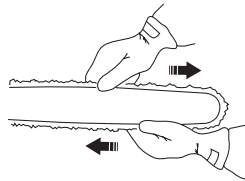


ソーチェーンの張り具合

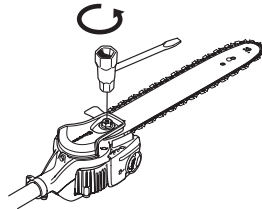


警告！ソーチェーンにたるみがあると外れやすくなり、重傷や時には致命傷の原因となることがあります。

- ソーチェーンは使用を重ねると次第に伸びて行きます。そのため、定期的にソーチェーンを点検してたるみを取ることが重要です。
- 給油のたびにソーチェーンの張りを点検してください。注意！真新しいソーチェーンは、慣らし運転の期間が必要です。この期間中は、より頻繁に点検を行ってください。
- ソーチェーンはできる限り強く張りますが、両手で自由に回せるだけの余裕は残してください。

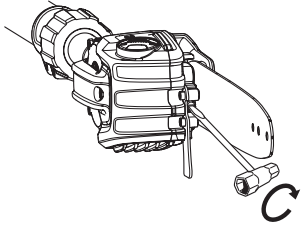


- パーナットのゆるめ方

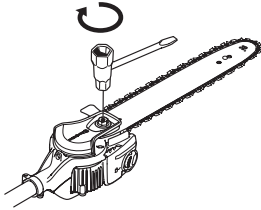


- コンビレンチを使ってソーチェーン張りネジを時計回りに回し、ソーチェーンを締めます。ソーチェーンがガイドバーの下側でたるまなくなるまで締めてください。

安全な使用について



- コンビレンチを使ってバーナットを締めます。チェーンを簡単に手で回せるかどうかチェックします。



カッティング装置の潤滑



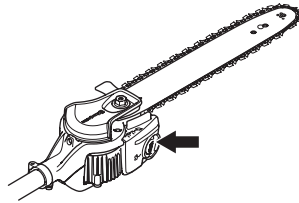
警告!カッティング装置の潤滑が不十分だとソーチェーンが切れ、重傷や時には致命傷の原因となることがあります。

チェーンオイル

- チェンオイルは夏期、冬期の気温差に関わらずその流動性を維持し、ソーチェーン表面に滑らかな皮膜を形成するものです。
- チェンソーのメーカーとして、最適なチェンオイルを開発しました。植物油をベースとし、生物分解するオイルです。ソーチェーンの寿命のためにも環境保護のためにも、ハスクバーナ製のオイルの使用を推奨します。
- 弊社製のチェンオイルが入手できない場合は、標準のチェンオイルを推奨します。
- ソーチェーン専用の潤滑油が入手できない地域では、一般的なEP 90 トランスミッション用オイルを使用してください。
- 廃油は絶対に使用しないでください! 作業者、機械、環境にとって危険です。

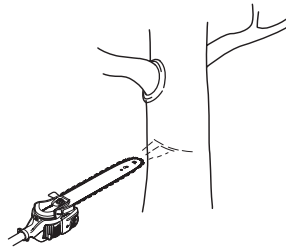
チェンオイルの補充

オイルを1時間ごとに、あるいはバッテリーが空になったら補充してください。



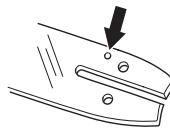
ソーチェーン潤滑状態の点検

- 給油のたびにソーチェーンの潤滑状態を点検します。表面の色が薄い物を、ガイドバーの先端で約 20 cm (8 インチ) 離れたところから狙います。3/4 スロットルで約 1 分間運転すると、表面にオイルの線がはっきりと見えるはずです。

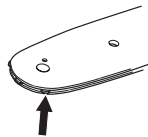


潤滑がうまくいかないときにすべきことは以下です。

- ガイドバーのオイル孔が詰まっているかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



- ギアハウジングがきれいかどうか点検します。必要に応じて清掃します。
- ノーズプロケットがスムーズに回転するかどうか点検します。上記の点検を実行しても潤滑システムが依然として機能しない場合は、お近くのサービスワークショップにご連絡ください。



組み立て

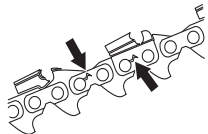
カッティング装置の摩耗の点検

ソーチェン



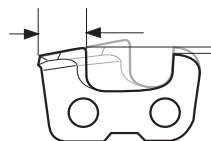
下記の点に注意してソーチェンを毎日点検してください。

- リベットやリンクにヒビが入っていないか。
- ソーチェンが硬くなっていないか。
- リベットやリンクの摩耗が激しくないか。



ご使用中のソーチェンと新品のソーチェンの摩耗の度合いを比較することを推奨します。

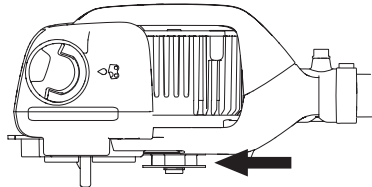
ソーチェンの刃が 4 mm 以下になったら、ソーチェンを交換してください。



チェンドライブsproケット



ドライブsproケットの摩耗度を定期的に点検します。摩耗が激しい場合は交換してください。

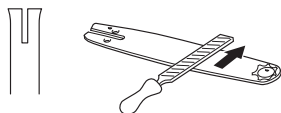


ガイドバー

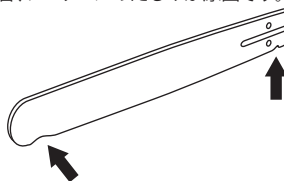


下記の項目を定期的に点検してください：

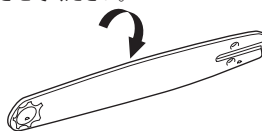
- ガイドバーの縁にバリがないか。必要に応じヤスリをかけます。



- ガイドバーが極度に摩耗していたり、シャフト上を大幅に前後に回転してしまう場合。必要に応じガイドバーを交換します。
- ガイドバーの先端が欠けていないか、摩耗が激しくないか。ガイドバーの先端下側にへこみができている場合、ソーチェンのたるみが原因です。



- ガイドバーの寿命を延ばすには、毎日バーを上下反転させてください。



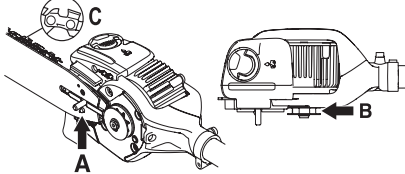
警告!故障したカッティング装置を使用すると、事故の危険性が高まる恐れがあります。

組み立て

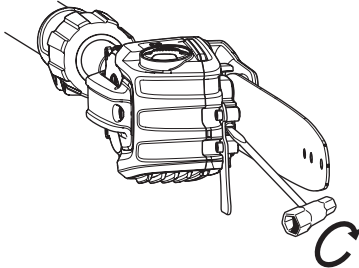
カッティング装置の取り付け



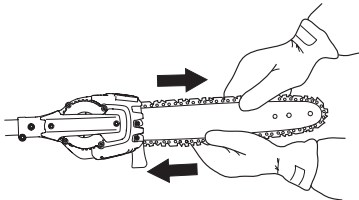
- バーナットを緩めて、保護カバーを取り外します。
- バーボルトにバーを取り付けます。バーを一番後方へスライドさせます。ソーチェンをドライブスプロケットとガイドバーのレール溝に装着します。ガイドバーの上側から装着作業を始めてください。
- カッターリンクの刃がガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。
- クラッチカバーをはめ、チェーン調整ピン(A)をガイドバーの穴に通します。ソーチェンのドライブリンクがドライブスプロケット(B)の上に正しく乗っているか、ソーチェンがガイドバー(C)のレール溝にきちんと入っているかを確認します。バーナットを指できつく締めます。



- コンビレンチを使ってソーチェン張りネジを時計回りに回し、ソーチェンを締めます。ソーチェンがガイドバーの下側でたるまなくなるまで締めてください。

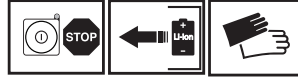


- ガイドバーの下側にたるみがなく、しかもソーチェンを手で自由に回せる程度になったら、ソーチェンは正しく張られています。バーの先端を保持しながら、コンビレンチを使ってバーナットを締めます。

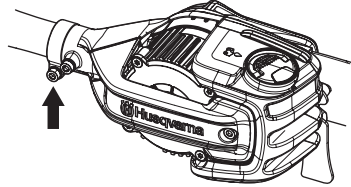


新品のソーチェンに取り替えたときは、ソーチェンがなじむまで張り具合を頻繁に調整する必要があります。定期的にソーチェンの張りを確認してください。正しく張ったソーチェンを使用すると切れも良く、寿命も長く持ちます。

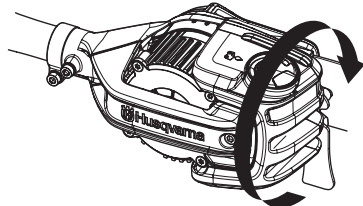
ソーヘッドの回転



- ロックネジを緩めます。

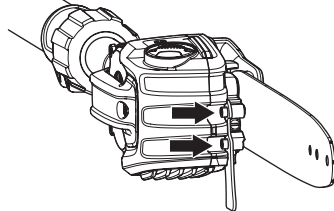


- ソーヘッドを90°回転してネジでヘッドを固定します。



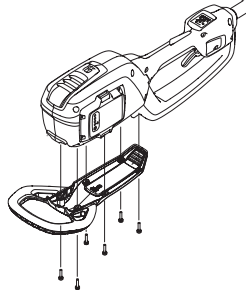
ブランチフックの組み付け

小枝ガードを2本のネジで組み付けます。



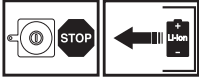
ショックガードの取り外し

- ネジを外してショックガードを取り外します。



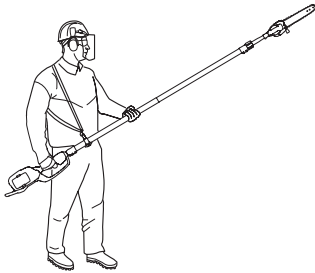
- ネジを使ってショックガードを組み付けます。

ハーネスの調節



本機をしっかりコントロールし腕や背中が疲れないようにするために、本機を使用するときは常にハーネスを使用してください。

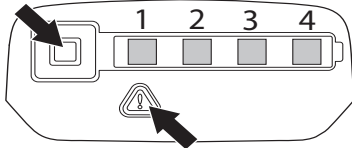
- ハーネスを付けます。
- ハーネスをサスペンションループに引っ掛けます。
- ハーネスの長さを調節してサポートフックが腰の右側あたりにくるようにします。



バッテリーの取り扱い

Battery (バッテリー)

ディスプレイには、バッテリー容量やバッテリーに関する問題が表示されます。バッテリー容量は、製品の電源がオフになった後あるいはバッテリーインジケータボタンが押された後に5秒間表示されます。エラーが発生すると、バッテリー上で警告マークが点灯します。エラーコードをご覧ください。



LED ランプ	バッテリーステータス
すべての LED が点灯	フルに充電 (75-100%)。
LED 1, LED 2, LED 3 が点灯	バッテリーは 50%-75% 充電済み。
LED 1, LED 2 が点灯	バッテリーは 25%-50% 充電済み。
LED 1 が点灯	バッテリーは 0%-25% 充電済み。
LED 1 が点滅	バッテリーは空です。バッテリーを充電してください。

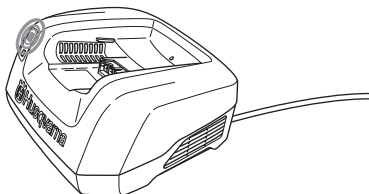
バッテリー充電器



警告!感電または短絡の危険性があります。認証を受けていて、損傷のない壁コンセントを使用してください。ケーブルに損傷がないことを確認してください。損傷を受けていることが視認された場合、ケーブルを必ず交換してください。

バッテリー充電器の接続

- 定格プレートで指定されている電圧と周波数を持つ電源にバッテリー充電器を接続してください。電源プラグを接地された壁コンセントに差し込みます。バッテリー充電器のLED が一度緑色に点滅します。



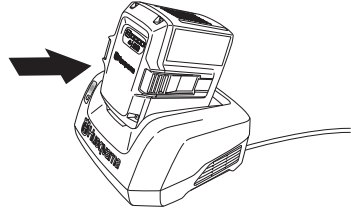
- バッテリー温度が 50 °C を超えると、バッテリーは充電されません。その場合、バッテリー充電器は積極的にバッテリーを冷却します。

バッテリーとバッテリー充電器を接続します。

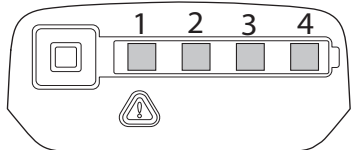
バッテリー充電器とバッテリーに損傷がないことを定期的に検査してください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

バッテリーは最初に使用する前に、充電しなければなりません。バッテリーは納入時、30% だけ充電されています。

- バッテリーをバッテリー充電器に組み込みます。バッテリーがバッテリー充電器に接続されていることを確認してください。



- バッテリーがバッテリー充電器に接続されていれば、バッテリー充電器で緑色の充電ランプが点灯します。
- バッテリーのLED がすべて点灯したら、フルに充電されています。



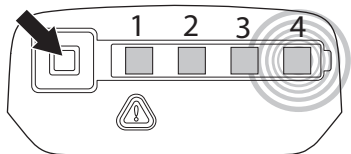
- 電源プラグを引き抜きます。壁コンセントから引く抜く際、電源コードを絶対に引っ張らないでください。
- バッテリー充電器からバッテリーを外します。

バックパックバッテリーを充電する手順は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

充電の状態

リチウムイオンバッテリーは、充電レベルに関係なく充電可能です。充電は、バッテリーの充電レベルに関係なくキャンセルまたは開始することができます。バッテリーは破損しません。フルに充電されたバッテリーは、充電器に入れたままにしても電力が失われることはありません。

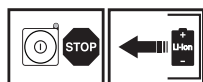
バッテリーの温度が 50 °C を超えた場合、バッテリーは充電されません。



バッテリーの取り扱い

LED 表示	充電の状態
LED 1 が点滅	バッテリーは 0%-25% 充電済み。
LED 1 が点灯、LED 2 が点滅	バッテリーは 25%-50% 充電済み。
LED 1、LED 2 が点灯、LED 3 が点滅	バッテリーは 50%-75% 充電済み。
LED 1、LED 2、LED 3 が点灯、LED 4 が点滅	バッテリーは 75%-100% 充電済み
LED 1、LED 2、LED 3、LED 4 が点灯	バッテリーの LED がすべて点灯したら、フルに充電されています。

搬送と保管



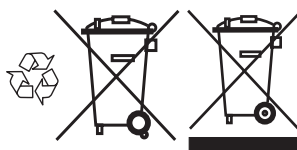
- 同梱のリチウムイオンバッテリーは危険物の規制に関する規則の対象となります。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関する特別な要件を遵守する必要があります。
- 出荷品目の準備においては、危険物処理の専門家によるコンサルティングが必要です。また、国によってはより厳密な、各国の規制事項を遵守してください。
- テープなどで覆って直接の接触を避け、バッテリーが梱包内に固定されるように梱包してください。
- 搬送の間、機器をしっかりと固定してください。
- 保管するときや搬送時は常にバッテリーを外してください。
- バッテリーおよびバッテリー充電器は、乾燥して湿気や結露のない場所に保管してください。
- 事故防止のため、保管時はバッテリーが接続されていないが確認してください。
- 静電気が発生するような場所にはバッテリーを保管しないでください。バッテリーは金属製の箱に保管しないでください。
- バッテリーは、5 °C ～ 25 °C の温度環境に保管し、直射日光にさらさないでください。
- バッテリー充電器は、5 °C ～ 45 °C の温度環境に保管し、直射日光にさらさないでください。
- 長期保管の前に、バッテリーが 30 % ～ 50 % 充電されていることを確認してください。
- バッテリー充電器は密閉かつ乾燥した場所へ保管してください。
- バッテリーとバッテリー充電器は、必ず別に保管してください。装置を鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにしてください。

- 長期間保管する際は、必ず事前に本機を清掃し入念なサービスを行ってください。
- 保管する場合や搬送する場合は、必ずカバーを使用してください。

バッテリー、バッテリー充電器および製品の廃棄

製品やパッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミとして取り扱われてはならないことを示します。電気・電子機器の再利用を行うため、適切なリサイクル営業所に引き渡す必要があります。

以上を遵守することで、本製品は正しく処理され、本製品を不適切に廃棄した場合に環境や人に与えられる悪影響を防止することができます。本製品のリサイクルについての詳細は、あなたの所在する地区の地方自治体、廃棄物処理サービス、本製品を購入した代理店に連絡してください。



始動と停止

始動前の点検



- 汚れやヒビがないかモーターを点検します。ブラシを使用してエンジンから草や葉を落とします。必要に応じて、手袋を着用してください。
- ソーヘッドが完全にシャフトに装着されているか確認します。
- 本機が正常に動作することを確認してください。すべてのナットとネジが確実に締められているかどうかを確認します。
- ソーヘッドに損傷や亀裂がないことを確認します。衝撃を何度も受けていたり、ひびが入っている場合は、ソーヘッドを交換します。
- ガードの付いてない本機あるいは破損したガードが付いている本機は、絶対に使用しないでください。
- 本機を始動する前に、すべてのカバーに破損がなく、正しく取り付けられている必要があります。
- 機械の意図された目的でのみ、本機を使用してください。

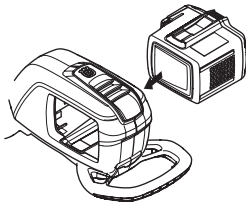
本機へのバッテリーの接続

注意！

ハスクバーナ BLi バッテリーの使用時、バッテリー容量に応じて、切削性能に違いが発生することがあります。

必ず完全に充電されたバッテリーを使用してください。本機にはハスクバーナの純正バッテリーのみを使用してください。主要諸元を参照してください。

- 本機にバッテリーを取り付けます。バッテリーは、本機のバッテリーホルダーに簡単に入ります。バッテリーが簡単に入らない場合、正しく挿入されていません。カチッという音が聞こえたら、バッテリーはロックされます。バッテリーが本機に正しく装着されているか確認してください。



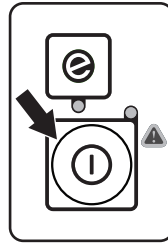
始動と停止



警告！作業エリアに許可なく人が立ち入らないようにしてください。重傷事故の恐れがあります。安全距離は 15 メートルです。

始動

本機をオンにします。緑の LED が点灯するまで、電源オンボタンを押し続けます (1 秒以上)。



パワートリガーを使用して、速度を制御します。

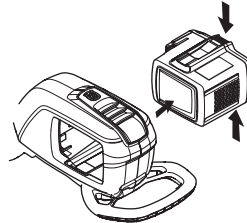
注意！

ボールソーを始動し、フルスロットルにします。スロットルトリガーを放し、ソーチェーンが停止し静止状態になっていることを確認します。

停止

パワートリガーまたはパワートリガーのロックを解放して本機を停止し、本機をオフにします。

2 つのリリースボタンを放し、バッテリーを引き出して、本機からバッテリーを外します。



重要事項！本機が誤って始動しないように、バッテリーは常に取り外してください。

一般的な作業方法

重要事項!

この項では、ポールソーで作業する際の基本的な安全注意事項を説明します。

どうしてもわからない状況になった場合は、専門家に問い合わせてください。販売店またはサービスワークショップに連絡してください。

技術的に難しいと思う操作は行わないでください。



警告!使い方によっては深刻な傷害を発生させることがあります。安全注意事項を十分に理解してください。本機の使用方法を学んでください。



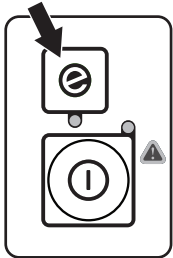
警告!カッティングツール。カッティングツールに触れる場合は、最初に本機を停止してください。



警告!本機は、ガイドバー先端が固定物に接触した際に激しく横に振れることがあります。これをキックバックと呼びます。キックバックが起きると、本機や作業者がどの方向に行くかわからないほど激しく振られ、本機のコントロールを失う可能性があります。ガイドバー先端での刈り取りを避けてください。

SavE モード

本機には省エネ機能があります (savE)。この機能をオンにするには、キーボード上の SavE キーを押します。savE 機能をオンにするとソーチェーンの速度とモーター出力が抑えられ、本機の運転時間が延びます。

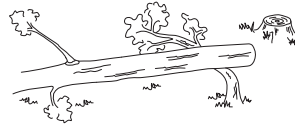


安全に関する基本事項

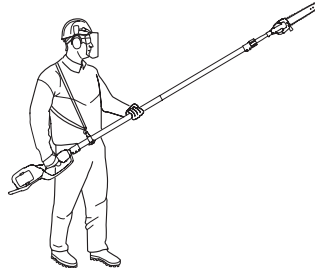


- 1 周囲を確認してください。
- 近くの人や動物、または他の物が本機の操作に影響しないことを確認します。
- 人や動物などがカッティングアタッチメントや、カッティングアタッチメントによって飛んでくる固定されていない物に近づかないように注意します。

- 注意!事故のときに、助けを求めることができない状況で、本機を使用してはいけません。
- 2 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が凍結していたり、予期せぬ方向に木が倒れるなどして危険です。
 - 3 疲れているとき、病気のとき、アルコールを摂取したとき、または視覚、判断、運動能力に影響を及ぼすような医薬品を使用したときには、絶対に本機を使用しないでください。
 - 4 作業エリアを点検します。石や割れたガラス、くぎ、スチールワイヤー、ひもなど、飛んだりカッティングアタッチメントにからまりそうな固定されていない物をすべてどけてください。
 - 5 身体の動きが自由に取れ、足場が良いことを確認してください。とっさに身をかわさなければならぬ場合に邪魔になる物 (木の根、岩、枝、溝など) が周囲にあるかどうか確認してください。斜面での作業は特に注意してください。
 - 6 張力のある枝や木を切るときは、最大の注意を払ってください。張力のある枝や木は、切る前や切った後に突然元の自然状態に戻ることがあります。正しい姿勢でチェーンを持っていないかったり、誤った場所で作業を行うと使用者やチェーンソーが木にぶつかり、コントロールを失う原因になります。このような状態は深刻な事故につながります。



- 7 バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 8 ハーネスを使用して、本機の重量を支え、取り扱いを容易にします。
- 9 本機は常に両手で持ってください。本機が体の右側になるように持ってください。



- 10 別の場所へ移動する前にエンジンのスイッチを切ってください。どんなに近くでも装置を運んだり移動する前に搬送用カバーを取り付けてください。
- 11 電源をオンにしたままにする場合は必ず良く見える場所に置いてください。

作業技術



警告!許可のない人が一定の距離以上近寄らないようにしてください。子供や動物、見物人、助手は15メートルの安全ゾーンに立ち入らないようにしてください。誰かが近づいたら、すぐに本機を停止してください。本機を持って向きを変えるときは、まず後ろを確認して、安全ゾーンに誰もいないように徹底してください。

本機を-10°以下で使用する場合は、作業前に製品およびバッテリーを最低24時間暖かい場所に置いておく必要があります。

幹の枝払い



警告!決して切断する枝の真下に立たないでください。重傷、あるいは致命傷を負う恐れがあります。

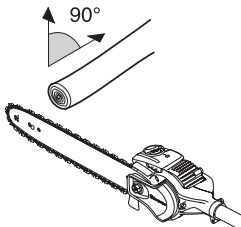


警告!頭上に電線のある付近で作業するときは、適用できる安全対策をとってください。

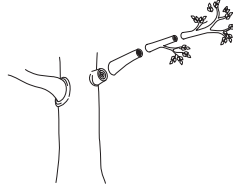


警告!本機は絶縁されていません。本機が高圧線に接触したり近づいたりすると、重傷あるいは致命傷を負う恐れがあります。電気はアーク放電により地点間をジャンプします。電圧が高いほど電気がジャンプする距離も長くなります。電気はまた、特に濡れている場合、枝やその他物体を通して伝わります。本機と高圧線間は常に最低10m空け、どんな物体も電圧線に触れないように気をつけてください。この安全距離内で作業する必要がある場合は、必ず関係電力会社に連絡して作業前に電力を切ってもらいます。

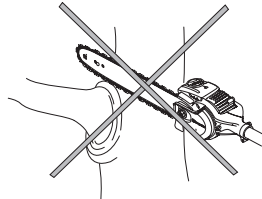
- 頭上に電線のある付近で作業するときは、細心の注意を払ってください。伐倒された枝が短絡を引き起こすことがあります。
- 可能ならば、枝に対して適切な角度で伐採できる位置に立ってください。



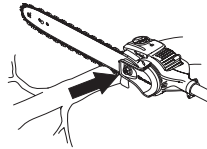
- 伐倒位置を制御できるように、大きい枝は分けて伐採してください。倒れた枝が地面に当たって作業者の方向にはねてくることもありますので注意してください。



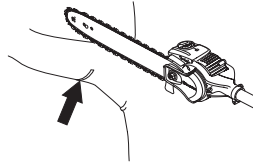
- 決して枝の付け根のこぶを切断しないでください。癒合を遅らせ、かびの攻撃リスクが高まります!



- 切断中の補助としてカッティングヘッドの基部にストッパーを使用してください。これによりチェーンが枝に「ジャンプ」するのを防げます。



- 枝の下側に最初に切りつけてから枝を切断してください。これにより、癒合が遅れて木に永久的損傷につながる樹皮の裂けを防げます。刃がひっかからないよう、枝の厚みの1/3より深くならないように切りつけます。刃がひっかからないよう、チェーンを引き抜く際はチェーンを動かし続けず。



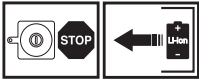
- 枝、石、木によって妨害されないで作業できるようしっかりと足場を固めます。



警告!チェーン全体が見えないときに決してスロットルをオンにしないでください。

メンテナンス

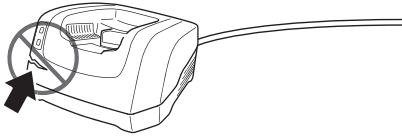
点検とメンテナンス



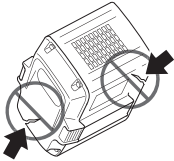
警告!本機のメンテナンスを行う前には、必ずバッテリーを外してください。

重要事項!バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗浄したりしないでください。強力な洗剤はプラスチックを傷めることがあります。

本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。本機の安全装置には、特にこのことが該当します。本機が下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。弊社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。本機を販売した小売店がサービス代理店ではない場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。純正の交換部品のみを使用してください。



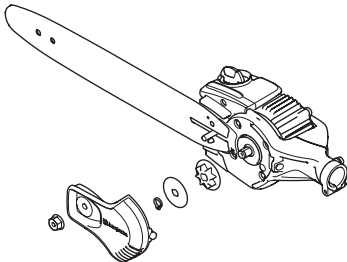
バッテリー充電器とバッテリーに損傷がないことを定期的に検査してください。



チェーンのドライブギア交換

ドライブギアの交換方法について少しでも不明な点があれば、まず販売店に連絡して助言を仰いでください。

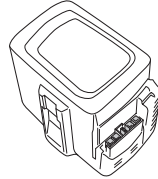
- チップガードのナットを取り外し、ガードを外します。



- ワッシャーとチェンドライブギアを保持しているクリップを取り外します。
- ワッシャーを外します。
- チェンドライブギアを外して新しいものと交換します。

清掃

- 使用後は本機を掃除してください。
- オイルタンク通気孔をブラシで掃除してください。
- チップガード下をブラシで掃除してください。
- 本機のバッテリーコネクタが汚れている場合、圧縮空気を吹き付けるか柔らかいブラシを使って掃除してください。
- バッテリーとバッテリー充電器が清潔であること、そしてバッテリーをバッテリー充電器へ組み込む前に、バッテリーとバッテリー充電器の端子が常に清潔で乾燥していることを確認してください。



- バッテリーガイドトラックは清潔さを保ってください。
- プラスチック部品は清潔で乾燥した布できれいにしてください。

メンテナンス

トラブルシューティング

キーパッド

トラブルシューティングはキーパッドから行います。

コントロールパネル	想定される障害	対応措置
緑色の LED が点滅	バッテリー電圧が低い。	バッテリーの充電
エラー LED が点滅	パワートリガーと作動ボタンが同時に押されている。	パワートリガーを開放すると、本機は作動状態になります。
		チェンが挟まっています。
		本機からバッテリーを外します。チェンを解除します。
	温度の逸脱。	本機が冷えるまで待ちます。
本機が始動しない	バッテリーコネクタが汚れている。	圧縮空気あるいは柔らかいブラシで掃除します。
エラー LED が赤く点灯	サービス	サービス代理店に問い合わせてください。

充電中のバッテリーとバッテリー充電器もしくはそのいずれかに関するトラブルシューティングです。

バッテリー

LED 表示	想定される障害	対応措置
緑色の LED が点滅	バッテリー電圧が低い。	バッテリーを充電してください。
エラー LED が点滅	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを充電してください。
	温度の逸脱。	バッテリーは、温度 -10℃～40℃ の環境で使用してください。
	過電圧。	本線の電圧が、本機の定格プレートに記載された電圧と一致することを確認してください。
		バッテリー充電器からバッテリーを外します。
エラー LED が点灯	電池の電位差が大きすぎる (1V)。	サービス代理店に問い合わせてください。

バッテリー充電器

LED 表示	想定される障害	対応措置
エラー LED が点滅	温度の逸脱。	バッテリー充電器は、5℃～40℃ の温度環境でのみ使用してください。
エラー LED が点灯		サービス代理店に問い合わせてください。

メンテナンス

メンテナンススケジュール



警告!本機のメンテナンスを行う前には、必ずバッテリーを外してください。

本機で実施すべきメンテナンス手順のリストは以下の通りです。ほとんどの項目は、メンテナンスのセクションで説明されています。使用者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店（販売店）に依頼してください。

メンテナンス	毎日行うメンテナンス	毎週行うメンテナンス	毎月行うメンテナンス
本機の外側を清潔で乾燥した布を使用して掃除します。水は絶対に使用しないでください。	X		
ハンドル部は乾燥させて、オイルや油が付着しないようにきれいな状態を保ってください。	X		
始動・停止ボタンが破損しておらず、正しく機能することを確認します。	X		
すべてのコントロールが破損しておらず、正常な状態であることを確認します。	X		
パワートリガーのロックとパワートリガー機能が安全面から見て正しく作動することを確認します。	X		
チップガードが損傷しておらず、ひび割れが無いことを確認します。衝撃を何度も受けていたり、ひびが入っている場合は、ガードを交換します。	X		
ナットおよびネジが確実に締められているかどうかを確認します。	X		
バッテリーに破損がないことを確認します。	X		
バッテリーの充電を確認します。	X		
バッテリーの解放ボタンが正常に作動し、本機にバッテリーをロックできるか確認します。	X		
バッテリー充電器に破損がなく、正常に機能することを確認します。	X		
オイルタンク通気孔の清掃	X		
すべてのカップリング、接続部、コードに損傷がなく、汚れのないことを確認します。		X	
チップガードの清掃		X	
バッテリーと本機の接続、およびバッテリーとバッテリー充電器の接続をそれぞれ確認します。			X
ソーヘッドに損傷がないことを確認します。損傷している場合はソーヘッドを交換します。	ソーヘッドのすべての点検はハスクバーナ正規代理店で実施する必要があります。		
ドライブスプロケットの状態を確認します。	チェンドライブギア交換時期のめやす: 100 時間使用後またはシャフトに重大な遊びが生じたとき		

主要諸元

主要諸元

	536LiP4	536LiPT5
モーター		
モータータイプ	BLDC (ブラシレス) 36V	BLDC (ブラシレス) 36V
チェン速度、m/s		
1/4	18	18
オイルタンク容量、L/cm³	0.15	0.15
質量		
バッテリーを除いた質量 (kg)	3.4	5
バッテリーを含む質量 (kg)	4.6	6.2
BLi150		
バッテリー稼働時間		
(最大) バッテリー時間、分、SavE 機能がオンの場合。	60	60
BLi150		
(最大) バッテリー時間、分、SavE 機能がオンの場合。	約 6 時間	
BLi940x		
ノイズレベル		
(注記 1 を参照)		
使用者の聴覚の等価音圧レベル。EN ISO 22868 dB (A) に従って計測、最小/最大:	88	83
振動レベル		
(注記 2 を参照)		
ハンドルの等価振動レベル ($a_{hv,eq}$) EN ISO 22867 に従って計測、m/s²		
延長シャフト、フロント/リヤハンドル	1.0/0.9	1.0/1.2
短シャフト、フロント/リヤハンドル	-	1.4/1.2

運転時間および温度は、3 秒運転、15 秒アイドリングの運転サイクルにより負荷なしで測定されています。
1140199-26 GB PDF の 28 ページを参照してください。

運転時間および温度は、3 秒運転、15 秒アイドリングの運転サイクルにより負荷なしで測定されています。
本機にはハスクバーナの純正 BLi バッテリーのみを使用してください。

指定バッテリー BLi に適合する認定充電器		
バッテリー充電器	QC330	QC80
主電源電圧、V	100-240	100-240
周波数、Hz	50/60	50/60
パワー、W	330	100

注 1 報告データによれば、製品の等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は 1 dB (A) です。
注記 2: 報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は 2 m/s² です。

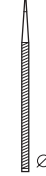
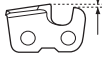
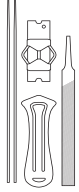
主要諸元

ガイドバーとソーチェンの組み合わせ

以下のカッティングアタッチメントは、Husqvarna 536LiP4 および 536LiPT5 モデルに対して使用が認められています。A318 バーは 536LiP4 および 536LiPT5 専用です。

ガイドバー			ソーチェン	
長さ、インチ	ピッチ、インチ	溝幅、mm	型式	長さ、ドライブリンク (数)
10	1/4	1.3	Husqvarna H00	58
12	1/4	1.3	Husqvarna H00	64

ソーチェンの目立てと目立てゲージ

							
37	5/32 / 4.0 インチ/mm	80°	30°	0°	0.025/0.65 インチ/mm	—	5796536-01

EC 適合性宣言 (ヨーロッパのみ適合)

ハスクバーナ AB (SE-561 82 Huskvarna, Sweden、電話: +46-36-146500) は、2016 年以降のシリアル番号のバッテリー式チェンクリアリングソー **Husqvarna 536LiP4 および 536LiPT5** (年号は定格プレート上にシリアル番号の前に明記) が、以下の評議会指令の規格に適合することを宣言します。

- 2006 年 5 月 17 日付「機械類に関する」**2006/42/EC**

- 2014 年 2 月 26 日付「電磁波適合性に関する」**2014/30/EU**

次の標準規格にも適合しています。

EN 60745-1、EN 60335-1、EN ISO 11680-1:2011、EN 60335-2-29、EN 62133:2011

SMP Svensk Maskinprovning AB (スウェーデン機械テスト)、Box 7035、SE-750 07 ウプサラ、スウェーデンが機械指令 (2006/42/EC) の条例 12、項目 3b に基づき EC タイプコントロールテストを実施しました。

Intertek Semko AB (Box 1103、SE-164 22 Kista、スウェーデン) がハスクバーナ社のために自主承認を發表しました。

ハスクバーナ、2016年1月1日



開発マネジャー Lars Roos (ハスクバーナ AB 正式代表兼技術文書担当)

1140199-79



2016-03-21